



## 新時代“三方よし”による持続的成長

伊藤忠商事は創業 160 年の歴史の中で、「第二の創業」ともいべき局面を迎えようとしています。創業より脈々と受け継がれてきた伊藤忠商事の精神である“三方よし”は、急速なビジネス環境の変化に対応すべく、「新時代“三方よし”」へ進化する必要があります。そのためには、人々の豊かな営みに根ざした身近な商人であることに加え、新技術によるビジネスモデルの進化創造を行うことにより、「稼ぐ」「削る」「防ぐ」の次世代化を図ることが必要です。また、社員のやりがい、健康増進を通じた次世代の働き方を実践し、生産性を高めなくてはなりません。

これらを通じて「未来を創る」「社会を担う」ことが新時代“三方よし”であると考えているからです。伊藤忠商事は、Brand-new Deal 2020 のテーマである“次世代”と 2030 年・2050 年を見据えたサステナビリティ上の重要課題を融合させながら、新時代“三方よし”による持続的成長を目指します。

岡藤正広

代表取締役会長 CEO 岡藤 正広



## 次世代への挑戦

伊藤忠商事は、失敗をおそれずに、常に一步先に挑戦し、新たなビジネスを開拓し、事業を拡大してきました。しかし、世の中はIoT、AIといった技術革新による第四次産業革命が起きており、目まぐるしく変化しています。伊藤忠商事は「商いの次世代化」に向けスピード感をもって踏み出さなければなりません。同時に、ESG（環境・社会・ガバナンス）の考え方が広がっていく中、いくつかの既存ビジネスは将来成り立たなくなっていくことも予想され、ESGの視点を踏まえたビジネスの取組みを考えなければならない時代になっています。そのような環境下に

おいて伊藤忠商事は、ESGの視点を取り入れ、新たに特定した7つのサステナビリティ上の重要課題に対して本業を通じて取組み、その成果をステークホルダー・社会・社員に還元しながら、新時代の持続的成長企業として挑戦し続けます。

# 鈴木善久

代表取締役社長COO **鈴木 善久**